

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	市民ふれあい福祉まつり事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-27	担当者 田中淳一
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者(児)福祉		
	施策	交流イベントの開催		

事業について	
目的	高齢者や障害者を含む、誰もが社会参加できるための交流の場を提供
対象(誰のために)	市内外を問わず、誰でもが参加できる。
内容	式典、講演会、健康コーナー、ふれあいテント(模擬店、バザー)

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
参加人数	1,800 人		
参加団体数	16 団体		
テント村出店数	17 張		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	900	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,965	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,865	一般財源等	4,865	合計	0	一般財源等	0

結果指標①	必要人員	0.47	人		
	結果指標名	参加者数			
	結果指標量	2,000			
	単位	人			
	対前年比	—			
	事業費	4,865,000	円		
	単当たりコスト①	2,433	円		

結果指標②	結果指標名	参加者数			
	結果指標量	2,000			
	単位	人			
	対前年比	—			
	事業費		円		
	単当たりコスト②		円		

事業の成果		
成果指標名	参加人数	式又は説明
	17年度	
成果指標量	1,800	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	2,500	到達目標年度 毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	雨天のため参加者が減少したが、模擬店・バザーは好評であった。式典については、講演会の参加者が少なく内容及び開催方法に検討が必要である。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	2,500	結果指標量②	
目標値	結果指標量	2,500	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	講演会の内容及び開催方法	18年度	参加者の増加

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

高齢者や障害者等の社会参加の場所及び交流の場所を提供することにより、福祉の町づくりを推進する。

実施内容を検討し、コスト削減に努める。

参加団体のメンバーで構成する実行委員会で、事業プラン立案から開催準備までを行い、市民参加によるまつりになるよう運営している。